

# 令和 6 年度大学院修了生アンケート調査結果

(平成 18 年度～令和 6 年度)

教学マネジメント室教学 IR 部門

2025/6/24

## Section 1

### 調査の概要

# 目的、調査方法

- 目的

本学の教育の成果を把握・検証することを目的として、平成 18 年度から継続的に全学的な卒業生・修了生アンケート調査を実施している。

- 調査方法

従来、3 月の学位記授与式当日に全卒業生・修了生を対象としてマークシート方式で調査を行っていたが、平成 30 年度より WEB 回答に変更し、学位記授与式当日以外でも案内できるようにした。なお平成 22 年度は、東日本大震災の影響で卒業式が開催されなかったため、平成 24 年 3 月に開催された「修了記念式典」の参加者に対して調査を実施した。設問内容は、結果を比較検討するために平成 18 年度からほぼ同じ内容としていたが、令和 2 年度に、調査の所掌が教学マネジメント室に移ったことに合わせ、より教育の質保証・質向上に資するため、設問内容を一部改正した。

- 実施体制

本年度は、調査票作成および実査は教育推進部教育機構支援課が行い、集計および報告を教学マネジメント室教学 IR 部門が担当した。

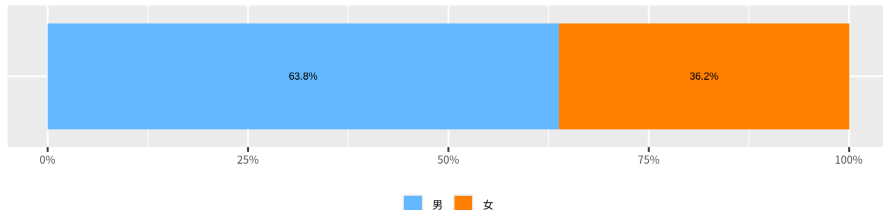
# 回答率

アンケートの対象者数・回答者数・回答率は下表のとおりである。

| 調査実施年度                                | 対象者数    | 回答者数    | 回答率   |
|---------------------------------------|---------|---------|-------|
| 平成 18 年度実施 (1 回目)                     | 1,647 名 | 1,377 名 | 83.6% |
| 平成 19 年度実施 (2 回目)                     | 1,859 名 | 1,448 名 | 77.9% |
| 平成 20 年度実施 (3 回目)                     | 1,865 名 | 1,531 名 | 82.1% |
| 平成 21 年度実施 (4 回目)                     | 1,945 名 | 1,685 名 | 86.6% |
| 平成 22 年度実施 (5 回目) (平成 24 年 3 月修了記念式典) | 308 名   | 55 名    | 17.9% |
| 平成 23 年度実施 (6 回目)                     | 2,047 名 | 1,692 名 | 82.7% |
| 平成 24 年度実施 (7 回目)                     | 2,022 名 | 1,610 名 | 79.6% |
| 平成 25 年度実施 (8 回目)                     | 2,161 名 | 1,656 名 | 76.6% |
| 平成 26 年度実施 (9 回目)                     | 2,058 名 | 1,606 名 | 78.0% |
| 平成 27 年度実施 (10 回目)                    | 2,044 名 | 1,579 名 | 77.3% |
| 平成 28 年度実施 (11 回目)                    | 2,065 名 | 1,615 名 | 78.2% |
| 平成 29 年度実施 (12 回目)                    | 2,230 名 | 1,655 名 | 74.2% |
| 平成 30 年度実施 (13 回目)                    | 2,187 名 | 640 名   | 29.3% |
| 令和元年度実施 (14 回目)                       | 2,059 名 | 973 名   | 47.3% |
| 令和 2 年度実施 (15 回目)                     | 2,065 名 | 836 名   | 40.5% |
| 令和 3 年度実施 (16 回目)                     | 2,076 名 | 983 名   | 47.4% |
| 令和 4 年度実施 (17 回目)                     | 2,288 名 | 831 名   | 36.3% |
| 令和 5 年度実施 (18 回目)                     | 2,331 名 | 1,102 名 | 47.3% |
| 令和 6 年度実施 (19 回目)                     | 2,335 名 | 1,184 名 | 50.7% |

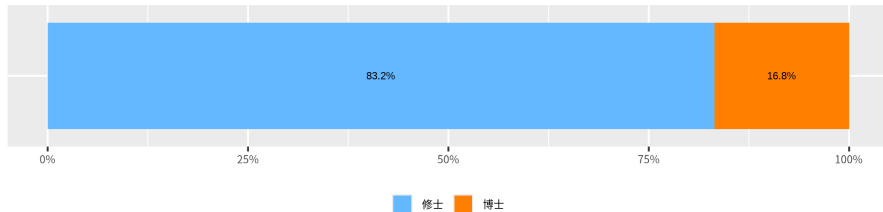
# 回答者の属性

性別



注：学籍情報に基づく

課程別回答者



注：修士は博士前期、修士、専門職学位の課程が含まれる。それ以外の課程は博士としている。

# 全体の傾向

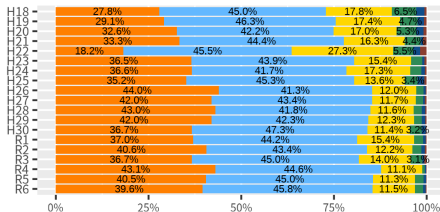
- 調査開始年度（平成 18 年度）から継続している設問の回答傾向は、例年とほぼ同様だった。
- 満足度を問う設問設問において「非常に満足」「満足」「やや満足」と肯定的に回答する割合は、すべての項目で高い水準を維持している。例えば、
  - 大学の大学院教育は全体としてどうでしたか: 97.2% (p.13)
  - 将来、家族や子供、高校などの後輩に筑波大学大学院を勧めますか: 94.7% (p.16)
  - 教員の教育に対する意欲: 95.4% (p.10)
- 所属していた学位プログラムのディプロマ・ポリシーについて、「説明を受けたことがあり理解している」と回答する割合は令和 2 年度から徐々に高まっており、令和 6 年度は 58.2% である (p.17)。

## Section 2

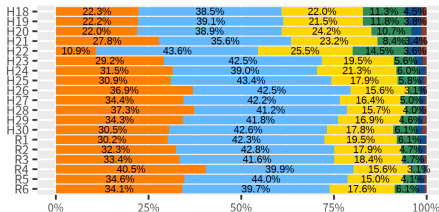
### 設問別調査結果

# 学修・研究環境についての満足度（H18からの設問）

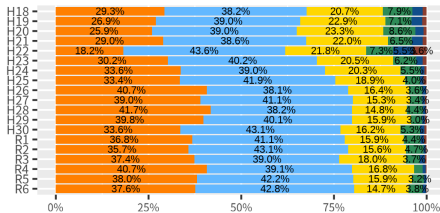
自分自身で学修・研究できる環境



教育・研究施設、設備、機器等



附属図書館など、学修・研究に必要な情報提供



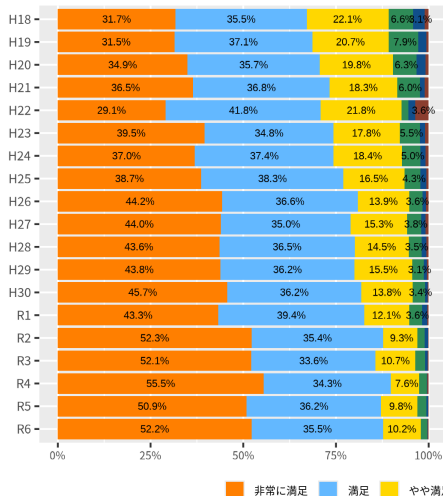
非常に満足 満足 やや満足 やや不満 不満 非常に不満

注：3%以下は割合の表示を省略

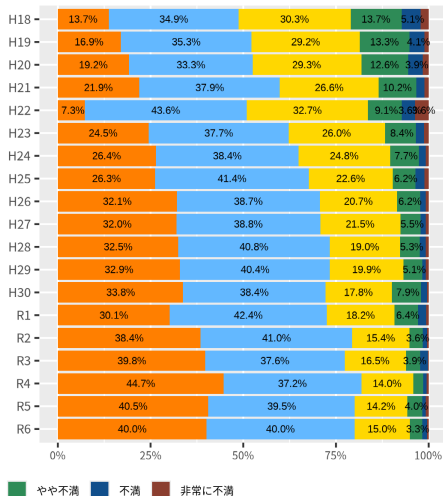


# 学修・研究環境についての満足度（H18からの設問）

研究テーマ選択の自由度



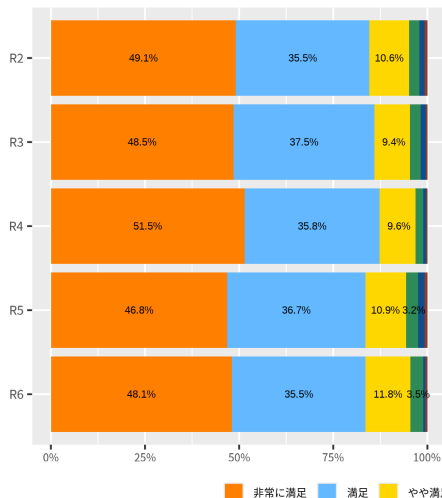
研究室および研究内容に関する情報の提供



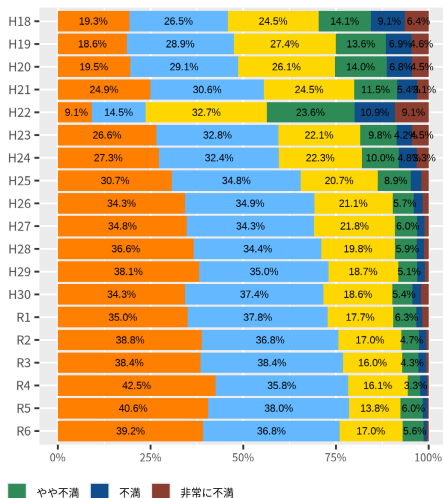
注：3%以下は割合の表示を省略

# 教職員についての満足度（R2 および H18 からの設問）

教員の教育に対する意欲



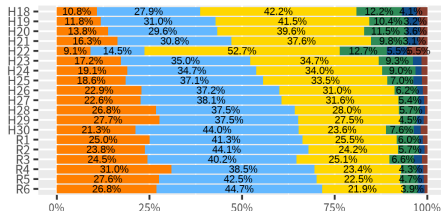
職員の教育に対する支援（単位確認など支援室でのサポート等）



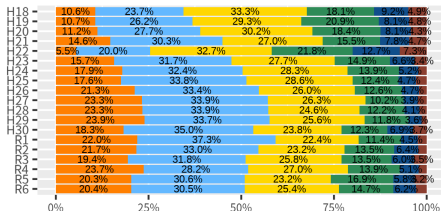
注：3%以下は割合の表示を省略

# 福利・厚生についての満足度（H18からの設問）

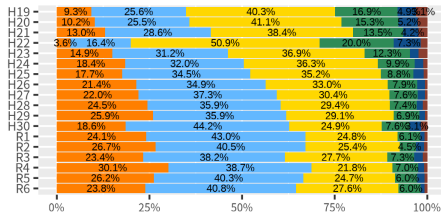
学生相談、セクハラ相談など、相談できる環境



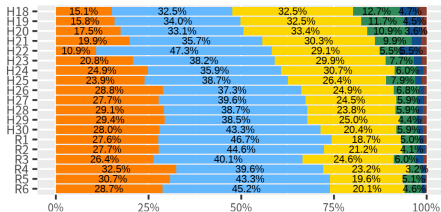
学生食堂、書籍部などの学生の厚生環境



大学の学生生活に対する支援



大学の生活環境

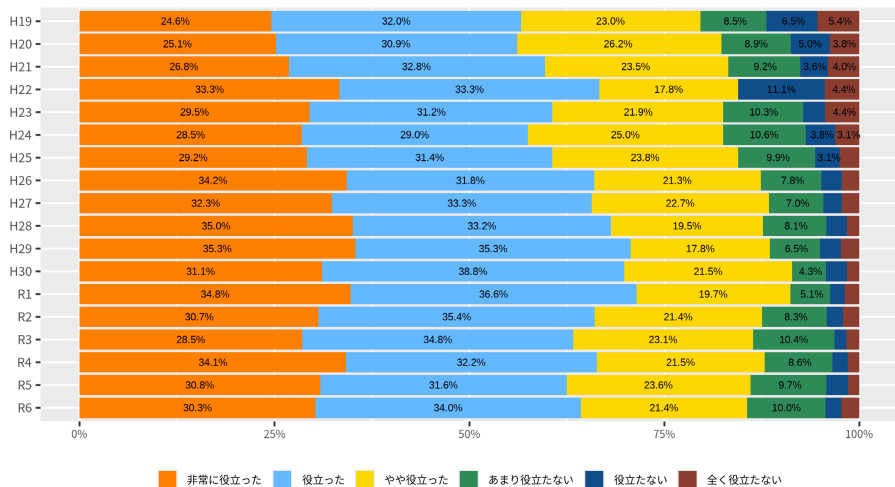


非常に満足 満足 やや満足 やや不満 不満 非常に不満

注：3%以下は割合の表示を省略

# 就職活動に大学院での教育は役立ったか（H19からの設問）

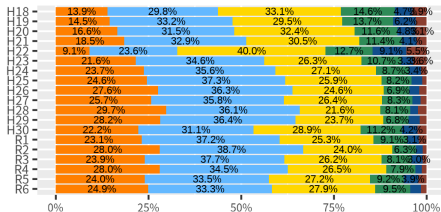
あなたの就職活動において、大学院での教育は役立ちましたか（就職予定者のみ回答）



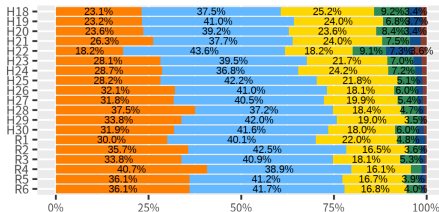
注：3%以下は割合の表示を省略

# 大学全体についての満足度（H18からの設問）

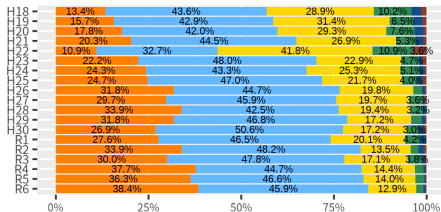
大学院生に対する奨学金、TA・RA等の経済的支援



あなたの大学院での研究活動



大学の大学院教育は全体としてどうでしたか

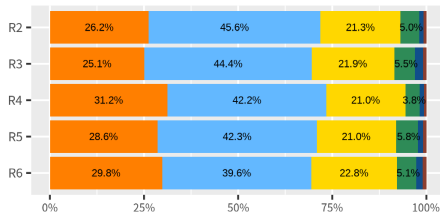


非常に満足 満足 やや満足 やや不満 不満 非常に不満

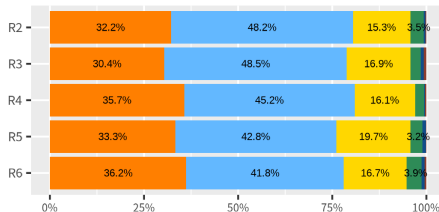
注：3%以下は割合の表示を省略

# 大学全体についての満足度（R2 からの設問）

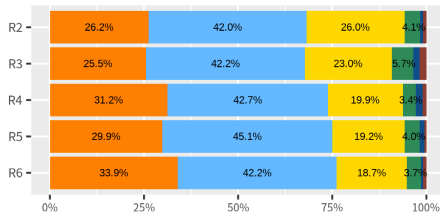
モジュール制



授業時間（75分授業）



学位プログラム制

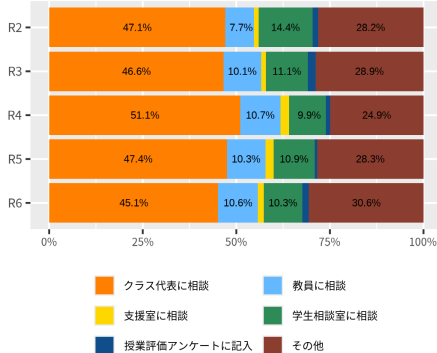


非常に満足 満足 やや満足 やや不満 不満 非常に不満

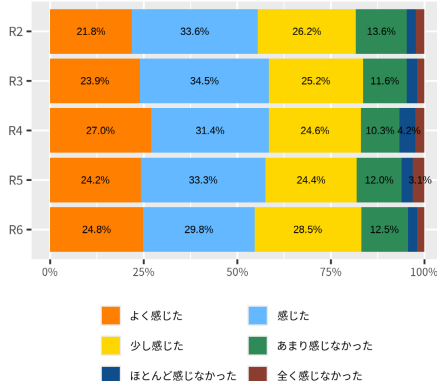
注：3%以下は割合の表示を省略

# 大学に対する意見や要望の伝達（R2 からの設問）

大学に教育に関しての意見や要望を伝えるために最も活用した方法



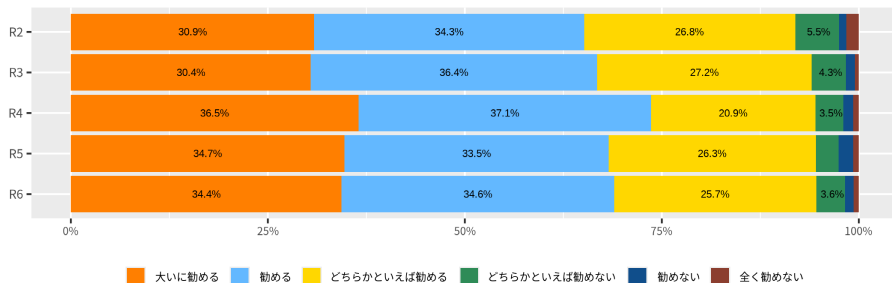
意見や要望は大学の教育に反映されていると感じましたか



注：3%以下は割合の表示を省略

# 今後について（R2 からの設問）

将来、家族や子供、高校などの後輩に筑波大学大学院を勧めますか

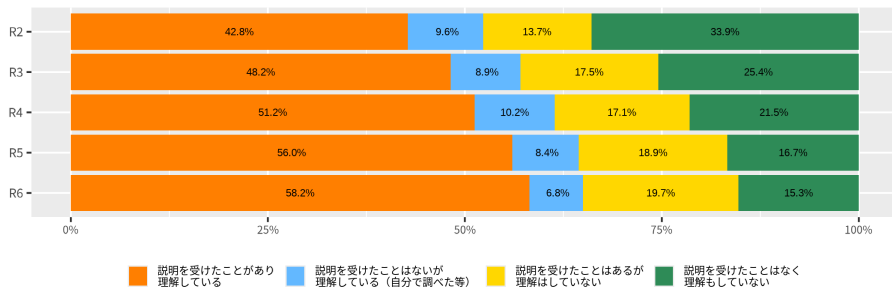


注：3%以下は割合の表示を省略



# 本学での学修について（R2 からの設問）

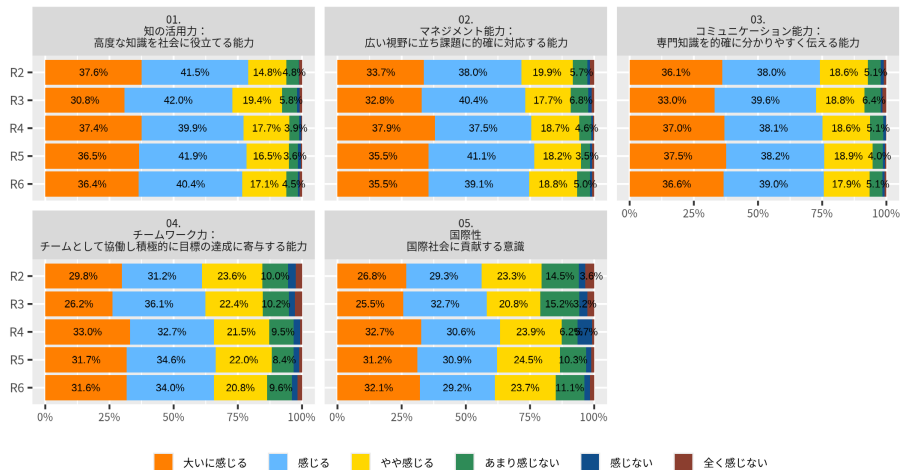
所属していた学位プログラムのディプロマ・ポリシー



注：3%以下は割合の表示を省略

# 本学での学修について（R2 からの設問）

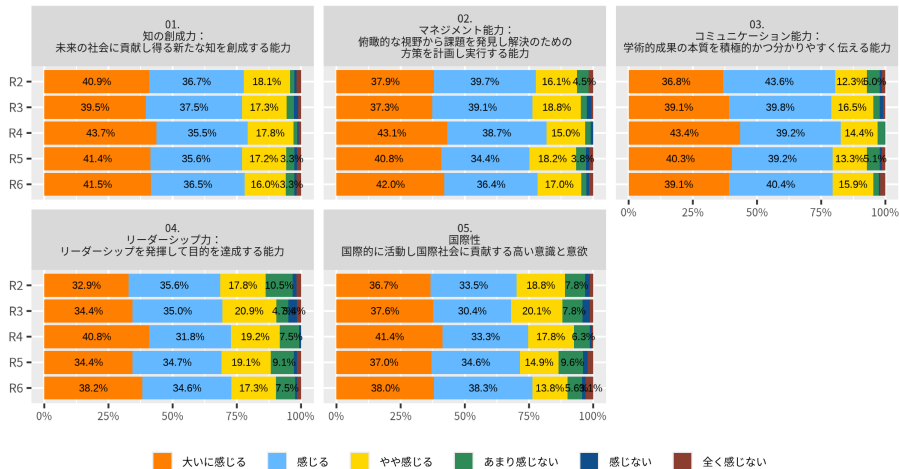
入学前と比べ、本学での学修を通じ、身に付いたと感じる能力  
(修士課程、博士前期課程、または専門職学位課程)



注：3%以下は割合の表示を省略

# 本学での学修について（R2 からの設問）

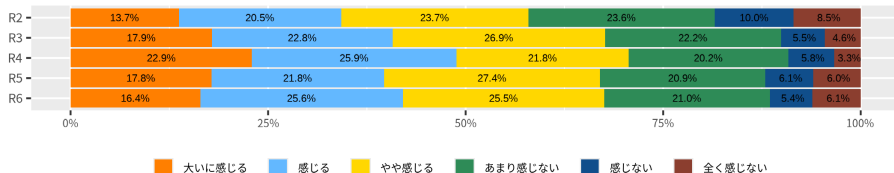
入学前と比べ、本学での学修を通じ、身に付いたと感じる能力  
(博士後期課程、一貫制博士課程)



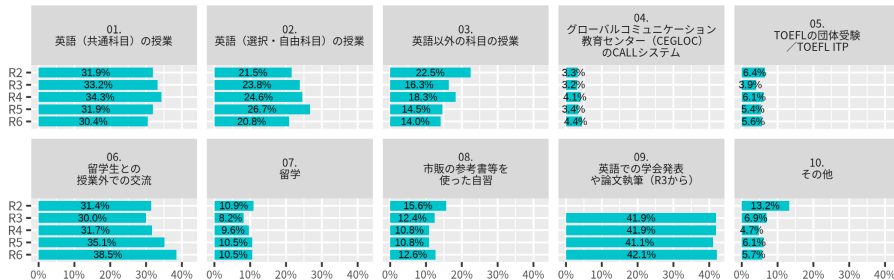
注：3%以下は割合の表示を省略

# 本学での学修について 英語非母語者対象（R2 からの設問）

英語によるコミュニケーション能力が身についたと感じますか



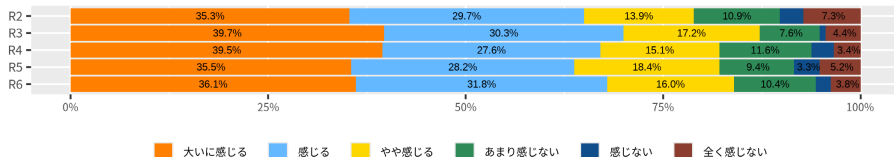
学修に役立ったもの（複数選択可）



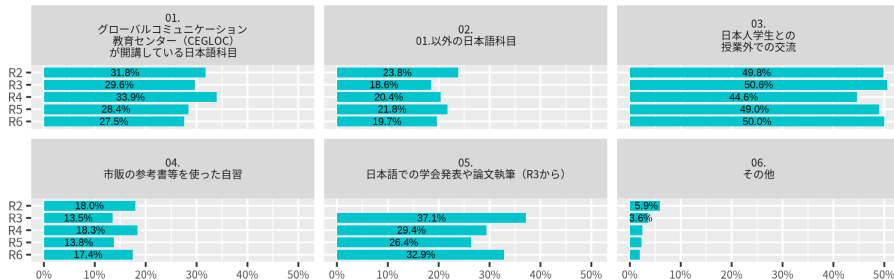
注：3%以下は割合の表示を省略

# 本学での学修について 日本語非母語者対象（R2 からの設問）

日本語によるコミュニケーション能力が身についたと感じますか  
（日本語を母語としない者を対象）



学修に役立ったもの（複数選択可）



注：3%以下は割合の表示を省略

# 本学での学修について（R2 からの設問）

社会人になった後でもう一度学びなおしたいと考えた場合、  
本学の社会人向け教育を活用しようと思いますか

